

第327回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成28年4月25日(月)午前11時00分より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 9人 出席委員9人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
村松 敦	委員	春日 貴光	委員
碓井 真史	委員	原田 健一	委員
大久保 千春	委員	田村 明子	委員
尾畑 留美子	委員		

会社側出席者

代表取締役社長	室川 治久
常務取締役編成局長 兼 番組審議会事務局長	
	須佐 博樹
取締役(報道・制作・技術・国際担当)	平野 真一
執行役員報道制作局長	稲田 裕之
報道制作局次長兼制作部長	小木 裕介
報道制作局 合評番組プロデューサー	竹野 和治

事務局	増子 隆	水野 明子
-----	------	-------

4 議 題

1) 番組合評

「移住女子 ～私は“ちゅくる”で生きる～」

[放送：4月2日(土) 10:30-11:25]

(説明：番組プロデューサー 竹野 和治)

2) 会社報告

①放送番組の種別報告及び放送番組の種別ごとの放送時間報告

[2015年10月～2016年3月] (報告：編成進行部長)

②4月期基本番組と番組種別 (報告：編成進行部長)

③3月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)

④講じた措置、公表など定例報告等 (報告：番組審議会事務局)

3) その他

①平成27年度視聴率について

5 審議の概要 (委員の意見)

会社側から、この番組の主人公が十日町市の池谷集落に移住してきた5年前に、当初のディレクターがそのキャラクターに魅力を感じて追い始め、現在のディレクターに引き継ぎながら、ニュースの特集取材を継続してきた。その後、彼女が結婚・出産を経て、移住してきた側から移住の魅力を発信する側になったことを契機に番組化をすることになったという説明があった。

●移住してきた主人公が悩んだり自信を失ったりする心の揺れ

が感じられた。そこから、自分の役割を見つけ、生きる実感を得て変わっていったこともわかった。移住を受け入れる側として重要なポイントであろう、地域の人たちの包容力や寛容力もよく描かれていた。

- 豪雪地帯であり過疎化が進むというような負のイメージの強い十日町で、新しい波・いぶきを感じさせる未来志向な内容で、地域のテレビならではの有意義な番組であった。
- 過疎の原因のひとつであろう、農業だけでは立ち行かないという現実、そこにある農業の収入や跡継ぎ等の問題を取り上げた番組も一考してほしい。
- 主人公は農業を愛する心や周りと触れ合う心を持ちながら発信力があり新しい可能性を秘めている。インターネットの無い時代では発信することが難しく埋没してしまう。キャラクターとともに発信力のある移住女子の影響力を強く感じた。
- 前回も指摘したように、ニュースの特集取材で撮り貯めた素材の保存と利用を考慮して、このような番組化する際に不足のないように対応してほしい。
- 移住を受け入れる地域の人たちの思い・声などを取材できれば、もっと深みのある内容になるのではないか。
- 社会問題を追うドキュメンタリーとしてではなく、ひとりの女性の物語として、爽やかな気持ちになれる番組であった。
- 有能ながらも悩みを持った女性たちに、その能力を発揮するきっかけを地方の農村が与え、その地域の活性化に彼女らが一役買う。社会における女性の活用、女性側から見た幸福と社会の関係などに考えが及んだ。
- 地方移住で自分らしい生き方をしたいと思う多くの人には足

がかりがない。その足がかりをうまく提案できている。だからこそ首都圏で放送してほしい。

- 移住や農業のあり方を考えるきっかけを与えてくれるとともに、5年間の多様な題材を盛り込んだ物語を通じて、社会的課題である地方創生や地域活性化についての明るいメッセージが発信されている番組だと思う。
- 主人公の5年間の成長ぶりにびっくりした。特に母になってからの自信や希望に溢れた生き生きとした姿が他の女性たちに移住をしたいという気持ちにさせたのではないかと感じた。
- 5年間の主人公の人生のドラマとして、その成長ぶりが見て取れた。
- 移住者と地元の壁を、主人公は人格で吸収し、信頼してもらえるような環境を作り、自分で解決していった。ある意味でこれからは勝負であり、彼女の暮らしを今後も追いかけてほしい。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

3月 …… 264件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成28年3月28日)から昨日(平成28年4月24日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

- 7 審議機関の答申または意見（前回審議会）に対してとった措置
- 1) 前回、第 326 回審議会では、「大追跡～心震わせた新潟あの瞬間～」を審議いただきました。委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。
 - 2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。
- 8 今回の第 327 回放送番組審議会の公表
- 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。
 - 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。
 - 3) インターネットの T e N Y ホームページに議事概要を掲載します。
- 9 参考事項（委員への配布資料）
- ・ 3月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
 - ・ 民間放送新聞（4/3、13号）、BPO報告 NO.160

以上